



## 2. 品川駅西口地区の再開発について

○「あきた美彩館」が立地する西口地区においては、東京と国内外を結ぶ交通結節点の他、業務・商業・研究・交流・居住など多様な機能が集積する国際交流拠点の実現を図ること等を目的とした再開発が行われている。

○品川駅周辺の限られた空間を有効に活用するため、国道15号道路上空を活用し、道・駅・まちが一体となった賑わい広場（デッキ）・商業施設等が整備される予定。

### 国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿

品川駅周辺地域は、新たな国際交流拠点の形成に向けて、道、駅、まちが一体となった都市基盤の整備を進め、「世界の人々が集い交わる未来型の駅前空間」を目指します

**◆次世代型交通ターミナル◆**

- 最先端のモビリティ（自動運転等）の乗降場を集約した次世代モビリティターミナルを配置



次世代型交通ターミナルのイメージ

**◆シンボリックなセンターコア◆**

- 利用者動線の交差点には連携の拠点となるセンターコアを配置
- 交通結節の各空間を結びシンボリックな空間を形成



センターコアのイメージ



横浜側から見た品川駅西口駅前広場の機能イメージ

**◆開発計画と連携した複合（交通・防災）ターミナル◆**

- 民間の開発計画と連携し、交通と防災を融合させた複合ターミナルを配置
- タクシー、ツアー系高速バス、次世代モビリティ等の乗り換えを可能に



バス駅舎

**◆人々が集う賑わい広場◆**

- センターコアの南側には、人々が集い、憩う賑わい広場空間を配置
- 有事の際には、防災拠点としても活用



賑わい広場のイメージ

### 事業スケジュール

リニア中央新幹線や周辺の再開発事業等のスケジュールを踏まえながら、道・駅・まちの一体化を実現していきます。

**第1ステップ**


【国道15号基盤整備事業】

- ・事業着手（地下鉄延伸計画との調整）
- ・鉄道関連事業
- ・京急線連続立体交差化の事業着手
- ・高輪ゲートウェイ駅開業（2020年予定）


【周辺再開発等】

- ・駅街区地区、西口地区、北南辺地区の事業着手
- ・環状4号線の事業着手

【平面図】



【横断面】（東西自由通路付近）



**第2ステップ：リニア開業時（2027年）を目標**

【国道15号基盤整備事業】

- ・2F上空デッキの北側部分の完成
- ・1F駅前広場拡張の完成


【鉄道関連事業】

- ・リニア中央新幹線開業・京急線地帯化の完了

【周辺再開発等】


- ・北南辺地区の一部まちびらき
- ・西口地区の一部完了
- ・環状4号線の一部開通

【平面図】



【横断面】（東西自由通路付近）

<デッキレベルで駅と街を直結>



**第3ステップ**

【国道15号基盤整備事業】

- ・2F上空デッキ南側部分の完成
- ・複合ターミナルの完成


【鉄道関連事業】

- ・リニア中央新幹線開業


【周辺再開発等】

- ・北南辺地区の完了
- ・西口地区の完了
- ・駅街区地区の完了
- ・環状4号線の供用開始

【平面図】



【横断面】（東西自由通路付近）



出典：国土交通省「国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿」

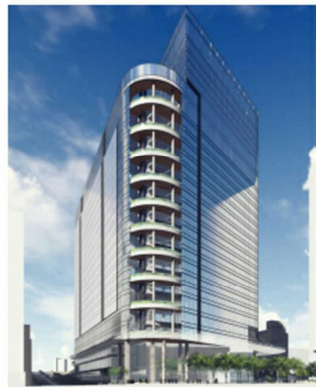
### 3. 高輪三丁目の開発計画について

#### ■位置図

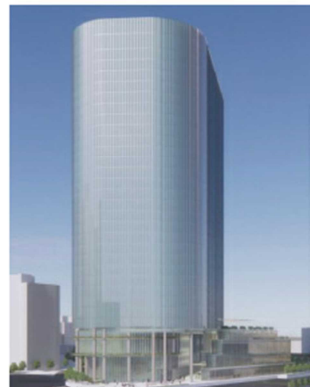


出典：京急電鉄（株）他3者「品川駅西口地区再開発等促進区を定める地区計画都市計画（素案）の概要」

○高輪三丁目においては、当該地区をA～C地区に分けて整備が行われる。A地区には地上29階建ての施設（京急電鉄とトヨタが共同で開発する施設）、C地区には地上30階の高層ビルが建てられ、事務所・商業・ホテル・住宅・多目的ホールなど、多用途に利用できる多目的施設が完成する予定。  
A地区は令和5年に着工し、令和8年竣工。C地区は令和6年に着工、令和9年に竣工。B地区の建築計画は未定。



【パース①】 A地区建物の外観イメージ



【パース②】 C地区建物の外観イメージ

出典：港区「品川駅西口地区地区計画の変更（案）について」



#### 4. 高輪四丁目の開発計画について

○高輪四丁目の具体的な開発計画は現時点で未定であるものの、京急電鉄が所有する賃貸オフィスビル（京急第1・7ビル）の敷地を活用した開発等が検討されている模様。



出典：京急電鉄（株）HPより引用